

新入職員紹介

- ①趣味 ②好きな食べ物
- ③休日の過ごし方

鈴木 文【介護】 山崎 亜弥子【理学療法士】 山下 貴子【事務】



- ①食べ歩き 旅行
- ②スイーツ アイス
- ③TV鑑賞



- ①音楽を聴く 晩酌
- ②お刺身 お寿司
- ③家事 子供と遊ぶ



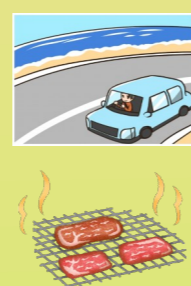
- ①手芸 マラソン 登山
- ②ビビンバ
- ③愛犬と遊ぶ

田島 昭一【介護補助】



- ①登山
- ②ラーメン
- ③田んぼの耕作

加藤 さおり【支援相談員】



- ①グルメ巡り 御朱印集め
ドライブ
- ②ブロッコリー パイナップル 焼肉 ラーメン
- ③お出掛けしてリフレッシュ



医療法人財団 聖蹟会
介護老人保健施設 ハートランド桶川

桶川市地域包括支援センター ハートランド
桶川市在宅介護支援センター ハートランド
ホームヘルプステーション ハートランド
〈住所〉〒363-0008 桶川市坂田1725
〈TEL〉048-777-7011 (代表)
発行：介護老人保健施設ハートランド桶川
発行日：令和7年12月10日

【編集後記】

朝の寒さが肌にしみる季節となりました。

毎日湿度が低く、空気が乾燥しているため加湿器を上手に使いながら、暖かく過ごしましょう。またインフルエンザなどの感染症も増加しやすいため手洗いやうがいを徹底して、感染予防に努めましょう。

百瀬

はなてまり

新施設長のご紹介

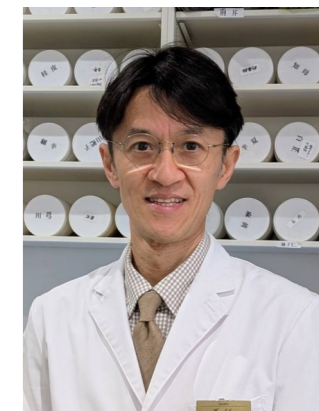
この度「介護老人保健施設ハートランド桶川」とご縁を賜り、当施設長を務めさせていただくことになりました鈴木邦彦と申します。身に余る大役でございますが、ご利用者の皆さまが安心して穏やかな日々を過ごしていただけるよう、心を込めて取り組んでまいります。

当施設には、これまで培われてきた温かな雰囲気と、ご利用者一人ひとりに寄り添う確かなケアがございます。その良い伝統を大切にしながら、より過ごしやすく、気持ちに寄り添える施設づくりを進めていきたいと考えております。

また、ご家族の皆さまにも「ここなら安心して任せられる」と感じていただけるよう、丁寧な説明と気軽に相談できる体制を整えてまいります。地域の皆さまとのつながりも大切に、開かれた施設として、これまで以上に親しまれる存在を目指してまいります。

職員一同と力を合わせ、ご利用者の皆さまが笑顔で過ごせる毎日を支えていけるよう精一杯努めてまいります。どうぞ温かいご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

宮城県仙台出身で、実家は薬局を営み、父が漢方の生薬治療を取入れるようになり、その影響で大学卒業後には内科をベースに漢方医学に関しても勉強いたしました。大学卒業後の3年目より北里研究所病院に勤務し、一般内科と主に漢方内科の診療・研究・教育に従事しておりました。



施設長 鈴木 邦彦

通所 敬老会

令和7年9月13日(土)に、デイケアで敬老会を開催しました。

午前中は嘉寿対象者の表彰式があり、職員からご利用者へお祝いと健康を願って手紙を読み上げました。職員からのお祝いと手紙に皆様大変喜ばれ、感動のあまり涙する場面もありました。昼食は敬老会行事食として、赤飯や天ぷらに金目鯛の煮付け、ご利用者に大人気の茶碗蒸し、すまし汁、デザート盛り合わせを提供しました。彩り鮮やかな食事に「どれも美味しそうだね」「金目鯛の煮付けがとても美味しかったよ!」などの感想をいただき、皆様大変喜ばれておりました。

午後は北本太鼓かばざくら様に和太鼓を披露していただきました。デイフロア全体に響き渡る迫力がある演奏に、皆様圧倒されながら楽しんでいただきました。かばざくら様演奏後は、太鼓をバチで叩く体験をご利用者にしていただき、笑顔あふれる会となりました。デイケアのご利用者皆さまの笑顔でいっぱい素敵な敬老会を開催できました。来年も是非楽しみにしていきましょうね!



入所 敬老会



令和7年9月21日（日）に2階・3階で敬老会を開催しました。
昼食は敬老会のお祝いで、赤飯、天ぷらの盛り合わせ、茶碗蒸しにすまし汁などを提供しました。茶碗蒸しはご利用者から毎回とても美味しいと大変好評です。彩りも鮮やかな食事に「盛り付けも工夫してとても美味しそうね」「天ぷらにしようか、茶わん蒸しにしようか、どれから食べようか」と満面の笑顔で喜ばれておりました。



昼食後は1階でボランティアのサークルドレミ様によるハーモニカ演奏が披露されました。演奏された曲はどれも懐かしい曲ばかりで、皆さま演奏に合わせて歌を唄ったり、静かにハーモニカの音色に聞き入っていました。



次に職員による昔懐かしい「愛染かつら」の自転車紙芝居を行いました。2階・3階のご利用者の前にテレビを設置し、紙芝居をテレビに映しながら行い、ご利用者から「紙芝居の絵がしっかり見えて、おもしろかった」「紙芝居、何年ぶりかしら、懐かしいねえ」と大変好評でした。



職員の出し物の後は、2階代表の卒寿の方と、3階代表の施設最高齢の102歳のご利用者へお祝いと表彰状をお渡しました。2階・3階代表のご利用者から、喜びと感謝の言葉をいただき、ご利用者、職員ともに心温まる敬老会となりました。



家族介護教室

令和7年9月13日（土）に令和7年度第2回家族介護教室を開催しました。テーマは【起居・移乗・車イスの介助方法】についてご家族と共に学びました。当日は施設の作業療法士と介護職員より、資料に沿って説明しながらベッドからの起き上がり、立ち上がり、移乗の介助方法、車椅子の操作方法について、ご家族の前で実演し、ご家族も介助方法を実演していただきました。介護教室に参加されたご家族は、普段目にするのしない介護職員による介助方法を間近で見たり、実際に体験し「介護される側の気持ちも理解でき、起き上がり、立ち上がり、座り替えのコツ、車椅子の操作と、とても分かりやすい内容で勉強になりました」とお話しいただきました。家族介護教室を通じて、職員も起居、移乗の介助方法、車椅子の操作について、より深く理解できる機会となりました。今後ご家庭での生活にお役に立てるような家族介護教室を開催していきますので、ぜひご参加ください。



事故発生防止研修会 ～窒息について～

令和7年10月10日（金）と24日（金）に事故発生防止研修として、窒息について研修会を行いました。

窒息とは、異物などによって気道が塞がれ、呼吸ができなくなる緊急事態です。高齢者の方の窒息の主な原因としては、気道閉塞を生じた食物の誤嚥（お餅、大きな肉などの塊、飴など）があります。

窒息の対応手順としては、まず始めに窒息している状態を認識した場合、すぐに周囲へ知らせます。窒息の症状が軽度の場合には咳を促し、重度の場合は異物を喀出させるため、状況に合わせ、ハイムリック法（腹部突き上げ法）・背部叩打法を行います。今回の研修は、お人形のハナちゃんを使用し、ハイムリック法・背部叩打法を実演してもらいました。もし意識がない場合には、早急に心肺蘇生（CPR）を行い、医師の診察を受ける流れとなります。

施設で発生しうる様々な事故に備えて、今後も研修会を通して知識や技術を身に付けていきたいと思っております。

